

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人環境ネットやまがた		
事業名	ゼロカーボン社会の実現と災害に強いまちづくりを目指す取り組み		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	898,401円
		うち助成金額	888,720円



■事業目的

災害などによる長時間の停電でも電気を使用できるようにするため、電気自動車の新たな活用方法に注目が集まっている。「V2H (Vehicle to Home)」の設備を導入すると、「電気自動車 (EV) に蓄えた電気を家庭で利用する」ことが可能になる。また、その電気を太陽光発電で生み出せば、地球にやさしいクリーンな電気となり、ゼロカーボン社会の実現にも繋がる。また、未来を担う子どもたちを対象とした環境教室の開催や森林に親しむ事業と合わせて行い、温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた 2050」の実現と災害に強いまちづくりに繋がる取り組みを実施した。

■実施内容

①「気候変動適応策」と「V

2H」普及セミナーの開催
適応策やV2H・電気自動車の概要や利活用を学ぶセミナーを開催した。V2Hの実演も実施。

日時：9月2日10:00～12:00、13:30～16:00
場所：山形市西部公民館
参加者：69名

②親子を対象とした環境・工作教室の開催

小学生の親子を対象として、再生可能エネルギーや次世代自動車に関する環境・工作教室を開催。

開催日：10月31日、11月28日、3月13日、開催場所：山形県産業科学館

③森林整備活動・自然素材での工作の実施

森づくりの大切さや森に親しむ体験活動 (森林散策、ドングリでのコマづくりなど) を実施した。

開催日：6月6日、10月10日

■事業の成果及び今後の展望

① 事業の成果

- ・セミナーへの参加者 69名、パンフレットの配布 770部
- ・環境・工作教室への参加者 41名
- ・森林整備活動への参加者 49名

② 今後の展望

V2Hの普及を進めることで、再生可能エネルギーや電気自動車の新たな活用方法を提案し、地球温暖化防止に繋げるだけでなく、地球温暖化への適応策とした災害対策も提案した。また、小学生の親子を対象とした環境教室では、「ゼロカーボン社会」を担う世代に啓発することで、2050年に向けた取り組みを進めた。

NPO法人環境ネットやまがたホームページ

(<https://www.eny.jp>)